



吸音材の吸音性・遮音性を評価します

吸音材の音響特性評価技術

技術分野分類 5506：機械力学・制御

技術キーワード (11)：音響情報・制御

産業分類 E-11：繊維工業 E-31：輸送用機械器具製造業

内 容	概要	近年、輸送用機器の環境負荷軽減技術の進展に伴い、防音材にも軽量な材料が好まれ、吸音材が多く使用されている。また、パワーユニットの多様化によって静音化の対象となる部材も変化し、防音性を備えたフェルト系材料が各所で使用されている。これらの吸音性の材料について、垂直入射吸音率や垂直入射音響透過損失の測定により、音響特性の評価を行う。
	従来技術・競合技術との比較 (優位性)	垂直入射吸音率・音響透過損失測定装置 (写真) は、垂直入射型の管内法による測定のため、吸音材の吸音率及び音響透過損失を小型の試験片で測定することができる。また吸音率については、従来はあまり注目されなかった高周波の音まで対応するため、内径 $\Phi 99.3$ 、 28.6 、 15.4 mm の3種類の測定管を備えており、100Hz～5(12.8) kHz まで実験することができる (要相談)。
	本技術の有用性	本測定により、反射面への吸音材貼付による反射音の減少効果、及び、通気性のある防音材内を音が通過する際の減少効果を、防音対策用の基礎データとして取得できる。
関連情報 (図・表・写真等)		 <p>(写真) 垂直入射吸音率・音響透過損失測定装置</p>
適用可能製品		自動車部材、一般機械部材、建築材料
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	山内 健慈 名古屋市工業研究所 システム技術部計測技術研究室 主任研究員
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名古屋市工業研究所 支援総括室 052-661-3161 / 052-654-6788 kikaku@nmiri.city.nagoya.jp

■知的財産 なし

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2017年9月28日